

第1号議案

令和6年度 事業報告

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響からも脱却し、賃金アップや消費拡大の動きもありましたが、物価の高騰が継続するなど、景気は一進一退の状況が続きました。われわれ商業者としても先が見えないところではありましたが、商店街イベントや商品券事業が積極的に行われるとともに、川崎市制100周年イベントなどでの集客で、多少でも元気を取り戻せたのではと感じているところです。

国際的にはトランプ関税や中東・ウクライナでの紛争による影響で、経済状態も先行きが見えず、物価の高騰も止まる様子を見せておらず、商業を取り巻く環境は、まだまだ厳しい状況の中ではございますが、基本理念に基づく事業活動を着実に実施してまいりました。以下、主だった事項について述べてまいります。

第1の柱である情報受発信事業では、市商連のホームページに、商店街への各種支援制度（国・県・市）や商店街のイベント情報、プレミアム商品券の情報、支部長会議・総会・理事会の結果報告及び毎月発行している市商連ニュースを掲載してまいりました。また、街路灯広告専用ページにおいては、広告掲出希望企業等に向けて商店街街路灯広告の周知を図ってまいりました。

SNS（Facebook）についても、ホームページと連動して、商店街のイベントや商店街の取組み等の情報発信を積極的に行いました。

さらに、商店街への支援策や補助制度などの重要な情報については、全会員商店街（商店会）に、支部長会での情報提供のほかメール等での情報提供も行っており、市商連ニュースについても毎月発行し、商店街や個店に有益な情報の提供に努めてまいりました。

第2の柱である政策提言活動では、7月中旬に、自民党・公明党・みらいの各会派の川崎市議団と市商連役員が、商店街振興策等について意見交換を行いました。令和7年度の川崎市への予算要望として、「商店街街路灯に対する電気料金補助額の増額」「街路灯の維持管理に対する新たな補助制度の創設」「アーケード内での街路灯広告の許可」「アーケード内広告の規制緩和」「市商連の運営費補

助金の増額」「市商連加入団体への支援」「商店街支援策における事業策定の方法と組織づくりについて」「防犯カメラの維持管理費等の支援」などを要望しました。その結果、アーケード内での街路灯広告について、制度の改正の可能性について行政との意見交換が始まったほか、令和6年度に要望した、「防犯カメラ設置補助金補助率の増額」については、令和7年度は補助率が75%に増額されることとなりました。

また、6月から7月にかけて3回にわたり、各地区商連から選ばれたメンバーと経済労働局商業部門の部長以下の職員で、市役所と市商連の連携を高めるとともに、補助金等市からの財源支援強化にもつながる具体的な事業推進方法を議論しました。その中で、新年度から調査研究事業を強化する目的で、市商連団体補助金が45万円増額されることとなりました。

第3の柱である活性化事業では、商店街活性化講演会と商店街観光ツアーを以下のとおり実施いたしました。

1 商店街活性化講演会

3月10日（月）に川崎商工会議所会議室において実施し、60名が参加されました。講演会等の内容は以下の通りです。

- ① 講演：『顧客をつくる“から”ファンをつくる”へシフトする
ファンマーケティング「新時代の新集客法」』

講師：ファンづくり専門家 店舗活性化コンサルタント 村越和子 氏
株式会社ファンクリエーション代表取締役

- ② 商店街取組紹介：「テーマ インバウンド集客に向けた取組」

発表者：川崎駅広域商店街連合会

- ③ 情報提供：商業支援メニューの紹介

発表者：(公財)川崎市産業振興財団産業支援部中小企業サポートセンター
川崎市信用保証協会企業支援部経営支援推進課
(一社)川崎中小企業診断士会
川崎市経済労働局観光・地域活力推進部

2 商店街観光ツアーの開催支援

11月2日（土）に、川崎駅前広域商店街連合会が「商店街観光ツアー」を開催しました。商連かながわの支援事業であり、ここ数年川崎市内の商店街で実施されています。

今回のツアーは、川崎駅前の宿泊施設を利用する訪日外国客の需要掘り起こしとして、ホテルなどの要望も聞きながら、滞在期間中にいかに川崎駅周辺

の街歩きで楽しんだり商店街利用を進めるためのモデルツアーと位置付けていました。またこの事業は、商店街振興の一環である、市の中心市街地活性化事業の位置づけもされており、かわさきTMOがもう一つの事業主体となり、ツアーでの結果を反映した、街歩きに役立つ外国語版マップ作製が成果物の一つとされていました。

そのため、支援組織は川崎市役所の他、商連かながわ、神奈川県などが加わり、市商連も連絡調整、アドバイスなどを行いました。大きな成果としては、アメリカの大学の日本校の学生が、モニターとして参加したことがあげられます。外国の方の考え方や嗜好など生の声がきけたのは貴重な体験となりました。

3 地区商業調査研究支援事業

各地区が実施する研究事業等に対し、市商連として支援いたしました。

- ① 9月4日～5日に実施した、中原区商連夏季大学（参加者24名）に助成金を交付しました。

テーマ：「商人の意識改革」

講師：荏原町商店街振興組合・品川区商店街連合会・品川区振興組合
連合会理事兼相談役 島 敏生氏

4 商店街魅力アップ支援事業

商店街のイベント事業や地域の課対応事業に対し市が行う補助金について、補助金請求資料の確認、事業の広報支援などについて川崎市から委託を受け対象となった19の事業について業務を行いました。

5 街路灯の広告掲出支援事業

溝ノ口駅前商店街振興組合、かしまだ駅前通商店街振興組合などで商店会収入につながる企業広告の確保への支援を行いました。

会員でない商店街が広告を希望する場合については、広告物のデザイン審査を実施しました。

6 地域貢献活動支援事業

川崎フロンターレに対する支援事業では、ホームゲームの試合終了後にその試合で最も印象に残った選手に「あんたが大賞」として 市内各区の名産品などの賞品を贈呈しました。【各地区商連及び市商連、市商連青年部】

第4の柱である後継者育成事業では、各種委員会への出席や商店街活性化講演会の企画及び運営、チラシ作成を行いました。

また、能登半島地震で被災された地域の復興支援を目的とした募金活動を実施し、合計1,545,344円の貴重な募金が集まり、「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」の口座に振り込みを行いました。

※締め切りとなった5月の段階で1,459,091円と発表いたしましたが、その後追加の募金がございましたので、額が増えております。

以上これらの事業実施・取り組みにあたりましては、会員各位のご理解・ご協力のもと、川崎市、川崎商工会議所並びに商連かながわのご支援を賜り、所期の目的を達成することができましたことを、心から感謝するものであります。

以下、実施した事業概要についてご報告いたします。